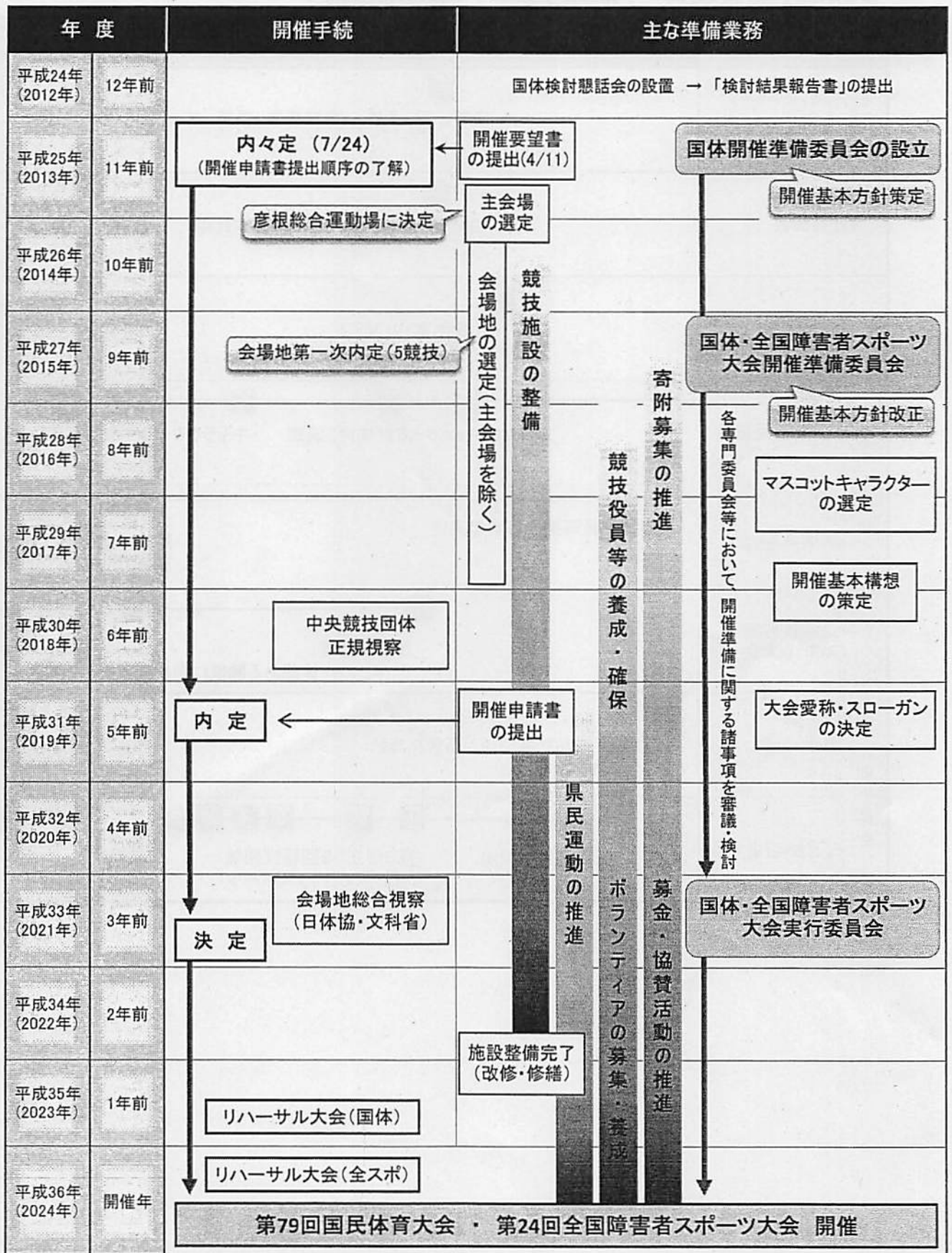


(1) 滋賀らしい国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催について

— 開催に向けた平成28年度の主な取組 —

1. 各競技会場地の選定について (資料1-1)
2. 競技役員等の養成について (資料1-2)
3. 開催機運醸成に向けた取組について
 - (1) 国体・全スポキャラクターの検討 (資料1-3)
 - (2) 寄附募集に向けた取組 (資料1-4)
 - (3) 子ども・若者参画特別委員会 (ジュニア・ユースチーム) 活動の展開 (資料1-5)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備スケジュール



○開催準備委員会 平成28年度スケジュール

		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
総会			■ ・事業計画、予算・事業報告、決算等		
常任委員会			■ ・会場地の選定(2次)・広報基本計画		
専門委員会	総務企画		■ ・会場地(案)の選定(2次 その2)		■ ・会場地(案)の選定(3次)
	広報・県民運動		■ ・マスコットキャラクター方針検討、決定	■ ・キャラクターデザイン等の検討	■
	競技運営	※競技役員等養成事業の実施			■ ・競技役員等養成事業進捗状況報告
	全国障害者スポーツ大会		■ ・課題の整理、 国体との一体感ある開催に向けた方策の検討		■
特別委員会	募金・協賛	■ ・H27実績・H28計画にかかる意見集約			■ ・H28実績・H29計画にかかる意見集約
	子ども・若者参画	※委員募集開始	1 2 第3期生 9回程度開催 (テーマ:パラスポーツ)	3 4 5 6	7 8 9

1. 各競技会場地の選定について

○内定済み …… 6競技

○次回内定予定 …… <その1>2競技(テニス、ソフトボール)
(8月3日) …… <その2>6月下旬～7月開催予定の総務企画専門委員会に諮るため、競技団体と
市町の意向を確認中の競技(10競技程度)

No	競技名	第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
		内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
1	陸上競技	H26.5.26	彦根市	(仮称)彦根総合運動公園陸上競技場	全種別	大津市
2	水泳	競泳				彦根市
		シンクロ				
		水球				長浜市
		飛込				彦根市
3	サッカー					水口町、甲西町
4	テニス	②H28.8予定	大津市	大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別	彦根市
5	ボート					大津市
6	ホッケー					伊吹町
7	ボクシング					能登川町
8	バレーボール					近江八幡市、守山市
9	体操	体操競技				栗東町
		新体操				
10	バスケットボール					大津市
11	レスリング					甲賀町、信楽町
12	セーリング					大津市
13	ウエイトリフティング					安曇川町
14	ハンドボール					彦根市
15	自転車	トラック				大津市
		ロード				八日市市、蒲生町、日野町、 永源寺町、愛東町、湖東町
16	ソフトテニス	①H27.8.31	長浜市	長浜市民庭球場	全種別	長浜市
17	卓球					草津市
18	軟式野球					近江八幡市、守山市

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
19	相撲		①H27.8.31	長浜市	長浜バイオ大学ドーム	全種別	日野町
20	馬術						栗東町
21	柔道						木之本町
22	ソフトボール		②H28.8予定	東近江市	布引運動公園多目的グラウンド	成年男	草津市、八日市市
				高島市	今津総合運動公園第2グラウンド	成年女	
				草津市	野村公園グラウンド	少年男	
				守山市	守山市民運動公園ソフトボール場・市民スポーツ広場	少年女	
23	フェンシング						五個荘町
24	バドミントン						大津市
25	弓道						長浜市
26	ライフル 射撃	センター・ファイア・ピストル					大津市
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南省	湖南省総合体育館	全種別	今津町
28	山岳						高島町、志賀町、朽木村
29	ラグビーフットボール						野洲町
30	カヌー	スプリント					大津市
		スラローム・ワイルドウォーター					
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町	愛荘町スポーツセンター 秦荘グラウンド	全種別	秦荘町
32	空手道						湖東町
33	銃剣道 (隔年開催)						今津町
34	クレー射撃 (隔年開催)						信楽町
35	なぎなた						
36	ボウリング						
37	ゴルフ						
38	トライアスロン						
39	高等学校 野球	硬式	①H27.8.31	大津市	皇子山総合運動公園野球場	—	大津市
		軟式					彦根市

注) 1 実施競技については、4年ごとに日本体育協会で見直しが行われており、滋賀県が開催する第79回大会の選定は平成29年度初旬の見込み。日本体育協会の実施競技の選定動向によっては、再調整が必要となる場合がある。

2 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

2. 競技役員等の養成について

(第79回国民体育大会競技役員等養成支援事業について)

趣旨

第79回国民体育大会（以下「国体」という。）の各競技会の円滑な運営を行うため、県内競技団体が実施する資格の必要な審判員および運営員の養成確保に対して必要な支援を行う。

支援内容

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会は、国体の正式競技（冬季競技を除く。）および特別競技の県内競技団体が行う中央講習会等派遣および県内講習会等開催に係る経費で次に掲げるものに対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

補助対象事業の種類	事業の内容	補助対象経費
中央講習会等派遣事業	○中央（ブロック）講習会による資格取得・更新 ○全国（ブロック）大会等への参加によるスキルアップ	受講者旅費・宿泊費、傷害保険料（実費のうち一定額を限度。）
県内講習会等開催事業	○県内講習会による資格取得・更新	講師謝金、講師旅費、印刷製本費、会場使用料など（実費のうち一定額を限度。）

今後の日程（H28年度）

- 4月13・14日 競技団体担当者連絡会（事業説明等）
- 5～6月 各競技団体による養成事業開始
- 8～11月 ヒアリング（養成年次計画の更新）
- 2月 次年度養成計画書の提出
- 3月 事業実績報告

※以後、開催年まで継続予定

(1) 国体・全スポキャラクターの検討

マスコットキャラクター選定の進め方

※第3回広報・県民運動専門委員会資料より抜粋

		メリット	デメリット
既存	新規 (パターン1)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに作るという取組自体が大会広報としてPRできる。 ・「国体・全スポのキャラ」という新鮮さがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会後も活用する場合、県イメージキャラクターとの関係を整理する必要がある。
	単体のまま使用 (パターン2)	<ul style="list-style-type: none"> ・既にある一定の認知度と活用実績を活かすことができる。 ・立体化やポージングの等の蓄積がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・募集による機運醸成や県民参画ができない。 ・決定時の話題性に欠ける。(飛び抜けて知名度の高い既存キャラがない。)
	関連キャラを追加 (パターン3)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、新鮮なイメージを付加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のキャラクターの性格やデザインの枠組みの中での追加となる。

マスコット選定に向けたスケジュール(素案)

3月16日 第3回広報・県民運動専門委員会
・マスコットキャラクター選定に向けた方向性の検討

7～8月 広報・県民運動専門委員会(第4回・第5回)
・マスコットキャラクター選定の方針を審議・決定

新規で作成

(パターン1)

- ◆ マスコットデザイン募集
- ◆ 第1回マスコットキャラクター選定部会(広報・県民運動専門委員会内に設置)
 - ・応募作品からデザイン候補作品を選定
- ◆ 第6回広報・県民運動専門委員会
 - ・デザイン(案)の選定
- ◆ マスコット愛称募集
- ◆ 第2回マスコットキャラクター選定部会
 - ・応募作品から愛称候補作品を選定
- ◆ 第7回広報・県民運動専門委員会
 - ・愛称(案)の選定

既存を活用

(パターン2)

- ◆ コスチューム等の変更をデザイン考案者に依頼

(パターン3)

- ◆ 既存キャラの考案者に関連キャラの作成を依頼
- ◆ 第6回広報・県民運動専門委員会
 - ・追加キャラのデザインの決定
- ◆ マスコット愛称募集
- ◆ 第7回広報・県民運動専門委員会
 - ・愛称(案)の選定

大会マスコットキャラクター決定

(平成29年度5～6月開催予定の開催準備委員会第5回総会において報告)

第3回広報・県民運動専門委員会 委員からの主な意見

- ・ 新しいキャラで滋賀県をアピールしていくのが国体・全スポを目指す我々としてはふさわしいのではないか。
- ・ 滋賀県は「ゆるキャラ」の先進地とも言われている一方で、県のキャラは知られていない状況。大会後も滋賀の顔として使えるキャラクターを考えるべき。
- ・ 「キャプフィー」は多方面の事業やイベントに出ている状況であることから、国体・全スポを契機にスポーツ振興に特化したキャラを改めて作ってはどうか。
- ・ 県内の機運を高めるのであれば既存でも十分かもしれないが、それでも新しいものを決めていく方がより機運が高まるのではないか。
- ・ 新しいキャラクターを県民みんなで選んでいくという過程がPRになるのではないか。
- ・ 「キャプフィー」に新しいキャラを加えてPRするような広報戦略の組み立てであれば、親しみやすいキャラとして基盤のある「キャプフィー」の良さを活かせるのではないか。
- ・ 新規キャラを選定していく取組自体が、両大会のPRにつながっていくことは間違いないと思うが、それ以上の効果というものはあまり期待できないのではないか。
- ・ すでにたくさんのゆるキャラがいる中で、お金をかけて新しいキャラを作るよりも、今ある宝を使う方が、滋賀県らしいのではないか。
- ・ 大会の広報・県民運動の本質は、大会の意義、概要等の周知であり、今の時点では、マスコットキャラクターの選定作業を通じた機運の醸成よりも、国体・全スポそのものの周知、また、その機運を高めていく取組に費用と時間を費やすべきではないか。
- ・ 県のキャラが乱立しているという指摘がある中では、既存キャラに国体・全スポの性格付けをしていくのが良いのではないか。
- ・ 広報戦略が非常に大事。大会マスコットであることをなるべく印象付けられるような広報PRをすることが大切である。
- ・ 県内か県外か、どちらの機運を高めるのかをまず決めてから、マスコットを既存にするのか新規にするのかを決めた方が良い。
- ・ 特定の地域色が出ないように留意しながら、マスコットの選定を進められたい。

3 開催機運醸成に向けた取組について

(2) 寄附募集に向けた取組

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会基金に係る 平成 27 年度 取組実績 (案)

1 寄附の実績 (H28. 3. 31 時点)

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	計
件 数	2 件	78 件	80 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	31,066 千円

平成 27 年度実績 20,065,930 円 ※収納済ベース

2 内 訳

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	4 件	5,013,000 円	
企業・団体	2 件	15,000,000 円	
イベント	4 件	18,430 円	淡海の人大交流会、国体記念講演会、びわ湖レイクサイドマラソン (募金箱募金、チャリティーグッズ売上げ)
その他	69 件	34,500 円	びわ湖レイクサイドマラソン (チャリティーランナー (@500 円))
計	78 件	20,065,930 円	内訳：施設等整備 20,010,000 円 競技力向上 55,930 円 全額を国体・全スポ運営基金に積立て

4 主な取組

平成 27 年 8 月 31 日 開催準備委員会総会において「募金推進要綱」、「募金推進計画」、「募金趣意書」の決定
⇒ 寄附の募集を本格的にスタート

(1) 個人

実施日	内容
平成27年9月9日	・街頭募金活動 →台風の影響により中止
平成27年10月	・募金リーフレットの作成 →イベント等での配布、金融機関窓口を設置
平成27年11月9日	・淡海の人大交流会 →大会開催の周知や寄附金の募集に関するPRを実施
平成27年11月21日	・国体記念講演会（滋賀県体育協会主催） →講演会後に募金活動を実施（活動には子ども・若者参画特別委員会の委員にも協力を依頼。）
平成27年12月1日	・寄附専用納付書による受付開始 →県の公金収納事務を取り扱っている金融機関の県内各店舗で一斉にスタート。 ⇒開始にあたっては、県広報誌やインターネット等の各種媒体で広報。
平成28年2月28日	・びわ湖レイクサイドマラソン →チャリティーランナーの募集、会場での募金活動
平成28年3月	・募金箱の作成（3/7納品） →県立の各施設（スポーツ・文化。ボランティア関係）等に設置。
平成28年4月～	・インターネットによる寄附受付（Yahoo!公金支払い）の開始

(2) 企業・団体

実施日	内容
平成27年7月27日	・滋賀経済団体連合会（平成27年度第2回滋賀経済団体連合会と行政との連絡調整会議） →寄附募集活動の展開について説明
平成28年3月中・下旬	・包括連携協定締結先企業との意見交換 →企業活動を通じた大会を応援する取組について意見交換を実施

**第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会基金に係る
平成28年度 取組計画（案）**

平成27年度の寄附実績を踏まえ、現時点では寄附募集の趣旨が十分浸透していないと考えられることから、今後は国体・全国障害者スポーツ大会開催はもとより、開催までの過程における施設整備や競技力向上への充當を目指す「滋賀のスポーツを応援する」ための寄附募集であることの説明をより丁寧に行う必要がある。

このため、「募金推進計画」全体スケジュールにおける「スタート・ダッシュ期」の中間年に当たる平成28年度においては、個人や企業・団体に向けたさらなる寄附募集の周知に向け、説明機会の増加と手段の拡充を図るため、以下の取組を進める。

1 個人

寄附受付の手段を拡大するとともに、広報活動と連携し、大会開催の周知とあわせて寄附募集を行い、機会の充實を図る。

- (1) インターネットによる寄附受付(Yahoo! 公金支払い)の開始(平成28年4月～)
- (2) 募金箱の設置箇所の拡大
→競技会場地として決定した体育施設+市町立の体育館への設置協力を依頼
- (3) 街頭やイベント会場での募金活動の実施
→県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施予定。
- (4) スポーツイベント等とのタイアップの実施
→レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集等。

2 企業・団体

直接訪問による依頼を強化するとともに、企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような、多様な手法を積極的に提示する。

- (1) 企業等向け協力依頼パンフレットの作成
- (2) 直接訪問による依頼
→企業等のニーズを把握し、寄附への協力が企業PRにつながるメニューを開発。
- (3) インターネットでの周知・協力依頼
- (4) 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税制度)の導入準備
→県外企業による寄附の税制面におけるメリットを倍増させる、「地方創生応援税制」の事業認定に向けた準備を進める。

3 学校との連携

県内の学校等と連携協力により、若い世代の発想を活かした寄附募集の機運醸成を図る。

- (1) 寄附募集ポスターのデザインコンテストの実施
→県内の大学等にデザイン募集を行い、最優秀作品をポスターとして県内各施設等で掲示
- (2) 募金箱デザインコンテストの実施
→県内の小中学校等に、募金箱に貼付するステッカーのデザイン募集を行い、優秀作品を県内各所に設置する募金箱に貼付のうえ活用する。



2024年の「国体・全国障害者スポーツ大会」開催に向けて、滋賀をスポーツで元気にするため、広く寄附を募ります！

**県民の皆さんが将来にわたり活用できる
スポーツ施設の整備を応援！**

いただいたご寄附は、主会場となる(仮称)彦根総合運動公園や、移転新築を行う県立体育館をはじめとするスポーツ施設の整備に要する経費に充当します。

国体・全国障害者スポーツ大会を契機に、県民の皆さんの豊かなスポーツライフ・健康づくり活動の拠点として、将来にわたり活用できる施設の充実を図るため、ご協力をお願いします。

**滋賀県ゆかりのアスリートの成長や、
全国や世界での活躍を応援！**

いただいたご寄附は、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費(競技力向上)に充当します。

両大会を、「滋賀の子が 滋賀で育ち 滋賀で活躍する大会」として開催できるように、また滋賀の地で育った選手が、指導者となり次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環を形成するために、ご協力をお願いします。

**国体・全国障害者スポーツ大会の
万全な準備・「おもてなし」を応援！**

いただいたご寄附は、会場に来られたみなさんをおもてなしする県民運動をはじめ、大会開催時に必要となる運営経費に充当します。

大会開催時には、「花いっぱい運動」をはじめとする県民運動を展開、全国から滋賀を訪れる選手・監督・観客のみなさんを「おもてなし」します。滋賀の魅力を全国に発信し、「また滋賀にきたい！」と思っただけのために、ご協力をお願いします。

寄附いただきやすい条件を整備しています！

- ① 分割でのご寄附も可能
平成26年まで毎年一定額を寄附いただく、等
- ② 口座振り込みによるご寄附も可能です
(事前のお申し込みが必要です)
- ③ インターネットを通じたご寄附も可能です
(平成28年4月から運用)

企業にとってもメリットのある多彩な手法をご提案します！

- ① 商品売上・サービス提供による収益の一部を寄附
例：イベントグッズ販売収益の一部寄附
- ② 主催イベント等におけるチャリティ活動協力依頼
例：マラソン大会参加申込みに併せたチャリティ協力依頼
- ③ マスコットキャラクター等のグッズ販売を通じた協力
(キャラクターは平成29年頃に決定見込みです)
- ④ 寄附付き商品の開発・販売
例：滋賀のスポーツを応援するグッズ・飲食品等を開発、売上げの一部をご寄附

たくさんの企業・団体のご協力をいただくために…

寄附をいただくことが、
「滋賀のスポーツを応援する」
企業であることの
「PR」につながるよう、
多様なメニューを
ご用意します！

企業のCSR活動の発信に効果的です！

- ① 施設への企業名表示によるPR
今後整備する施設に銘板等を設置、寄附いただいた企業等の名称を将来にわたり顕彰します。
- ② 競技力向上対策事業での企業名表示によるPR
「滋賀レイキッズ」をはじめ、競技力向上対策事業での企業名の表示(横断幕・Tシャツ等)を検討中です。
- ③ 感謝状贈呈等、謝意表明の機会の活用
毎年開催する「開催準備委員会総会」の場での感謝状授与を行います。またご意向に応じ、単独での感謝状贈呈の機会を確保、県民の皆様への発信を行います。

「寄附」以外の方法による応援も歓迎します！

- ① 県立スポーツ施設のネーミングライツパートナーに
- ② 大会・イベントの冠スポンサーに
- ③ 物品(競技用具)提供による協力
- ④ 企業スポーツ振興への協力(選手雇用等)もお願いします

(①についてお申し出があった場合は滋賀県と、②～④についてお申し出があった場合は、県体育協会等と連携のうえ対応を検討します。)

税制面でのメリットがあります！

全額損金算入が可能
企業から「国体・全スポが募金」への寄附金は滋賀県が受け入れることから、法人税法第37条第3項第1号の規定に基づき、全額損金算入されます。また、県外企業による寄附の税制面において、よりメリットのある「地方創生応援税制」の事業認定に向けた準備を進めています。

大会開催直前には、「企業協賛制度」により、さらに効果的なPRが可能になります！

- 開催3年前を目途に、国体・全スポ滋賀県開催実行委員会(開催準備委員会を改組予定)が、企業等と契約のうえ実施する予定です。協賛金は「広告宣伝費」として損金算入が可能となります。(今後(公財)日本体育協会と協議し、実施時期の前例しを検討します。)
- 特典として、国体標章、大会名称、マスコットキャラクターの広告・商品等への使用をはじめ、看板、プログラム等への企業名の掲出・掲載等が可能となるなど、より効果的なPRが可能となります。(特典内容は協賛金の額に応じ異なります。詳細は今後検討します。)

3. 開催機運醸成に向けた取組について

(3) 子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム) 活動の展開

平成 27 年度 子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユース事業) 活動概要とその成果について

1. 活動概要

第2期目となる平成27年度においては、県内に居住、通学・通勤する小学4年生から大学生世代の子ども・若者25名が、「スポーツボランティア」を取り巻く環境を調査するとともに、委員自らスポーツボランティアを体験することによって、スポーツボランティアの魅力や課題に対して検討を行った。

回	月	日	内 容	会 場
1	8	25	結団式、仲間づくり活動	びわこ成蹊スポーツ大学
2	9	12	紀の国わかやま国体 取材・見学	和歌山ビッグホエール
3	10	3	高校野球秋季県大会 取材・見学	皇子山総合運動公園野球場
4	10	11	滋賀レイクスターズ 運営ボランティア体験	県立体育館
5	11	7	講話・ミーティング	守山駅前コミュニティホール
6	12	5	びわ湖若鮎駅伝大会 ボランティア実践	野洲川河川公園
7	1	16	調査結果の整理、課題解決策の検討	滋賀県庁
8	2	14	活動のまとめ、報告資料づくり	滋賀県庁
9	3	12	活動報告会、解団式	コラボしが21

2. 活動成果

活動のまとめとして、調査・体験活動から明らかになったことを整理して、スポーツボランティアの増員策などを以下のとおりとりまとめ、発表した。

(1) スポボラパワーアップ大作戦

① 作戦その1「情報発信」

➤ スポボラの宣伝

- ・ 経験者にSNS等を通じ、魅力を発信してもらう
- ・ バスや電車で宣伝

➤ スポーツイベント来場者への呼びかけ

- ・ スポーツに関心のある人への発信が効果的
- ・ 「みる人」から「支える人」になってもらう

➤ スポボラカレンダーの作成

- ・ 県内で行われる様々なイベントに必要なボランティア情報を表示

- ・ カレンダーに示すことで、計画的な参加、仲間との参加がしやすくなる

② 作戦その2「場づくり」

➤ 学校でスポボラ学習

- ・ スポーツを「支える人」の存在を知る機会の提供
- ・ マラソン大会や運動会等で「支える」役割を实践

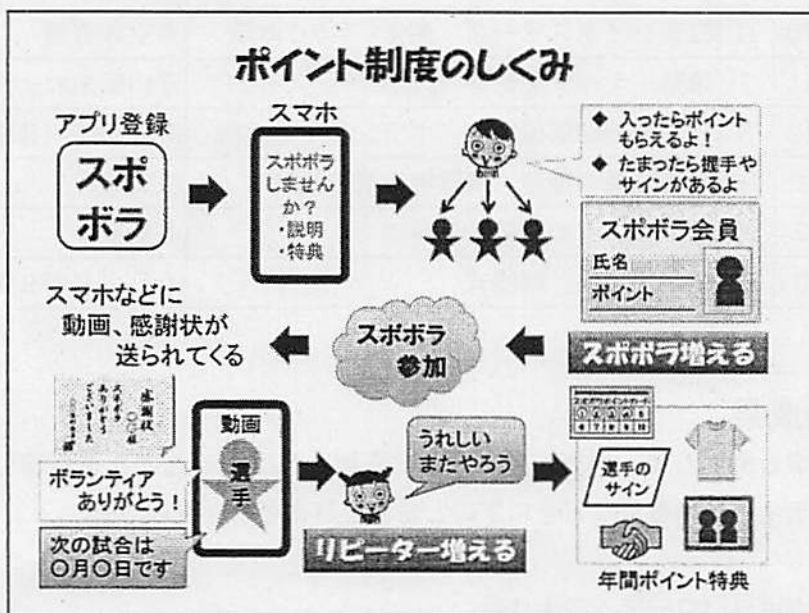
➤ 「スポボラ会」の結成

- ・ シニアやシルバー世代が参加する会をつくる
- ・ イベントへのボランティア参加を通じ交流

③ 作戦その3「参加特典」

➤ ポイント制度と感謝の気持ち

- ・ 「スポボラアプリ」を登録すると、特典等のポイント情報も含め、スポーツボランティアの情報が入ってくる仕組みをつくる
- ・ ボランティア参加者には、主催者や選手から動画等、感謝のメッセージが送られてくる
- ・ 参加を続けると、サイン・写真、握手会、記念Tシャツ等ポイントに応じた特典を用意



➤ 参加経費

- ・ 交通費が出ると参加しやすいし、昼食が出れば言うことなし

(2) スポボラ心得7ヶ条

今回の活動を通じメンバーが感じたことを多くの方に知ってもらうとともに、スポーツボランティアに対する望ましい認識・理解を広めるために、「スポボラ心得7ヶ条」をまとめた。

この7ヶ条は、スポーツボランティアにこれから参加する人、スポーツボランティアを募集するイベントの主催者、スポーツイベントに参加する人(選手など)に向けたメ

メッセージである。

スポボラ心得 7ヶ条

スポボラに参加する人へ

1. スポボラは自主的に行う無償の社会貢献活動であると心得よう
2. 元気なあいさつと笑顔を心がけよう
3. 競技ルールを知っておこう
4. 責任と思いやりをもって役割を果たそう

主催者・参加者（選手）へ

5. スポボラを支えるのは感謝の言葉と心得よう
6. スポボラの意見や感想をしっかりと聞こう
7. 選手との交流や観戦できる場面をつくろう

3. その他

- ・ この活動は滋賀オリジナルの取組であるとともに、若者の主体的な参加、県民総参加につなげる取組として今後も継続。
- ・ メンバーについては「国体・全スポフレンド」に認定し、大会開催に向けた人材としての活躍を期待。
- ・ 活動のプロセスを広報することで、大会の機運醸成につなげる。

8年後の 国民体育大会 滋賀で開催!
 2024年 全国障害者スポーツ大会
 (平成36年) 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会「子ども・若者参画特別委員会」

ジュニアユースチーム 第3期生 **メンバー募集!**
 対象: 小学5年生~20歳代前半 しめきり: 6/24(金)

みんなで滋賀のスポーツのことを考えてみませんか?

今回のテーマは

「**パラスポーツ**」
 (障がい者のスポーツ)



ジュニア・ユースチームとは...

滋賀での国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げるためのアイデアやスポーツに関することについて、調査・体験活動を行い、自分たちの意見を表明・提案しようというものです。

第1期生(湖上スポーツ)、第2期生(スポーツボランティア)に続き、今年が第3期生(パラスポーツ)となります。



活動予定 全9回

※活動日や内容が変更されることがあります。

1	結団式・仲間づくり活動	8/26(金)
2	体験・取材 車いすバスケットボール ※車いすに乗って行うバスケットボール	9/19(祝)
3	体験・取材 ゴールボール ※目隠しをして鈴の入ったボールを転がし、ゴールを越す競技	11/6(日)
4	見学ボランティア 水泳記録会 ※滋賀県立障害者福祉センターで開催される水泳記録会	11/20(日)
5	講話話し合い パラアスリートによる講話	11~12月頃
6	体験・取材 ボッチャ ※実際のボールを目標球にいか近づけるかを競う競技	12/3(土)
7	話し合い活動 活動のまとめ	1月頃
8	話し合い活動 活動のまとめ・報告資料づくり	2月頃
9	活動報告会・解団式	3月頃

メンバー特典

「国体・全スポフレンド」として認定し、滋賀での総会開会式にご招待



新しい出会い・つながり



国民体育大会
シンボルマーク

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会とは?

各都道府県の代表選手が出場する国内最大のスポーツの祭典です。

毎年違う都道府県で開催されていて、

2024年(平成36年)に滋賀県で開催されます。



全国障害者スポーツ大会
シンボルマーク